

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第八小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・地域人材や施設、環境等へ愛着をもち、生活できるようになった。 ・発達段階に応じた取組により、地域への興味関心が高まった。
立川市民科の取組の課題	・児童自らが課題を見出し、解決するための手立て等を考えることで一層主体的に立川市民科の学習に取り組めると考える。 ・単元を実施する時期や他教科との合科など、カリキュラムマネジメントを意識した実施計画等を検討し、年間を通して、児童の興味関心を保ち、探究的な学びを実現していく。 ・教員が「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究のサイクルを意識した指導ができるようにする。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
35.2%	29.8%	13.5%	6.3%	15.2%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
36.9%	39.9%	7.8%	2.6%	12.7%